

5月補正予算案の概要

総額 15,353 百万円 を編成

○総合緊急対策 10,420 百万円（※先議議案として提出）

- ・原油高・物価高に係る業種別対策 687百万円
- ・生活者支援 1,411百万円
- ・コロナ禍からの社会経済活動回復に向けた対策 5,090百万円
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止強化対策 3,228百万円
- ・ウクライナ避難民受入支援 5百万円

○活力と安心のふるさとづくり 4,933 百万円

- ・SDGsの取組加速、デジタル田園都市の推進
- ・公共事業（地域高規格道路整備、通学路安全対策） など

「SDGs未来都市」選定！SDGs人材づくり加速化へ新事業

1,953万円

「SDGs未来都市」への選定を契機に、SDGsの取組を加速化させ、持続可能な地域社会の創り手を育成

〇とっとりSDGs子どもアンバサダー事業(200万円)

- ・「とっとりSDGs子ども伝道師」※を対象に、子ども伝道師同士のオンライン交流・演習、県内のSDGsに取り組む企業・地域の事例学習、海外とのオンライン交流などを通じSDGsへの理解を深めた人材を育成する。

※とっとりSDGs子ども伝道師任命開始！

- ・学校でSDGsを学び、SDGsに関する取組を実践、未来へのメッセージを作成した学級の児童を「とっとりSDGs子ども伝道師」として任命。
- ・第1号の子ども伝道師を7月に任命予定。
- ・年内を目途に、子ども伝道師としての活動成果を発表。

〇SDGs未来都市推進事業(1,555万円)

- ・SDGs未来都市をPRするためのSDGsシーズンなどのイベント開催やのリーフレット動画を作成して普及啓発する。

〇SDGs課題解決型パートナーシップ促進モデル(198万円)

- ・慶応大学湘南藤沢キャンパスが行う「未来構想キャンプ」を誘致し、地元高校生たちが本県をフィールドにして、地域や企業の課題解決に向けたモデルを構築に取り組む。

SDGs未来都市に
選定されました！



R4.5.20 SDGs未来都市認定証授与式にて野田地方創生担当大臣より授与

「とっとりSDGs子ども伝道師」
ロゴマークも募集中！

～6/17(金)まで



「鳥取県立バリアフリー美術館」創立事業

～都道府県が創る障がい者アートに特化したVR美術館は全国初～

3,652万円

- 障がい者の優れたアート作品を高精度でデジタル化（立体作品も3Dスキャン）
- デジタル化したアート作品を誰でも、いつでも、どこからでも、無料でインターネットで鑑賞できる「バリアフリー美術館」を創立し、障がいなど様々な理由で展示会等に出向けない人の文化芸術へのアクセシビリティ向上
- 鳥取県内の優れた障がい者アートの掘り起こし

(※インターネット上でのバリアフリー美術館イメージ)

デジタル技術で、日本一のWEBアクセシビリティを目指す



みんちりえ(<https://min-chi.material.jp/>)

○県内の代表的な障がい者アートや、あいサポートアートとっとり展の入賞作品等の展示を想定

※展示する作品は、福祉施設、アートの専門家等で構成するワーキンググループで決定

○全方向から作品を鑑賞できるなど、デジタル技術を駆使し、実際に美術館を訪れているような感覚を実現

○作品描写の詳細な読上げ、簡易な操作など様々な障がい者にも配慮

○「あいサポート・アートとっとり展」でのお披露目を想定

とっとり健康省エネ住宅の普及促進

1,346万円

SDGs 未来都市選定を契機に「とっとり健康省エネ住宅」の普及促進を強化。

宿泊体験への支援 100万円

健康省エネ住宅の良さを実感してもらうため、
住宅購入を検討されている方を対象とした宿泊体験
を行う事業者に対する助成制度を創設
(利用者10人まで5万円 以降10人ごとに2万円)



とっとり健康省エネ住宅

国の基準を上回る県独自の省エネ住宅基準（断熱性、気密性）を満たす住宅を「とっとり健康省エネ住宅」として認定

住まいづくりフェアの開催 1,246万円

SDGs と住宅との関係について、**親子で学べる体験型のイベント等**を開催
(NE-ST体感ハウス展示、健康省エネ効果パネル展示、SDGsな家工作体験 等)

健康省エネ住宅助成の対象拡充 制度改正 (※既定予算2.6億円の枠を活用して執行)

将来の太陽光発電設置に備えた健康省エネ住宅に対し新たに助成を行う。
(とっとり住まいる事業との組合せで最大210万円の支援を追加 ※既存制度は太陽光設置の場合最大250万円)

とっとり健康省エネ住宅の普及目標

【現在】
県内新築木造戸建て住宅の **20%** (約300戸/年)



【2030年目標】
県内新築木造戸建て住宅の **100%** (約1,500戸/年)

ウクライナ避難民の受入へ

500万円



<支援内容>

- ・ 住居(賃貸住宅・県営住宅等)を提供
- ・ 生活支援金の支給
- ・ ウクライナ語の携帯通訳機の提供
- ・ 県内在住外国人によるサポート(生活全般)
- ・ 来県時期の目途が立った段階で、クラウドファンディングを立ち上げ

[5月補正予算]

○生活支援・自立支援・生活物資の確保

- ・ 住宅支援(住宅確保、生活用具等の提供)
- ・ 生活支援金の支給

(例)賃貸住宅等の場合:世帯30万円、単身者15万円

○生活全般に係る手続等の支援

- ・ 在留資格の切り替え、住民登録、銀行口座開設等

○言語の支援

- ・ 通訳・翻訳者の確保・派遣
- ・ 日本語学習支援

○健康管理

- ・ 保健師による健康状態(メンタル含む)の把握、必要な医療の提供

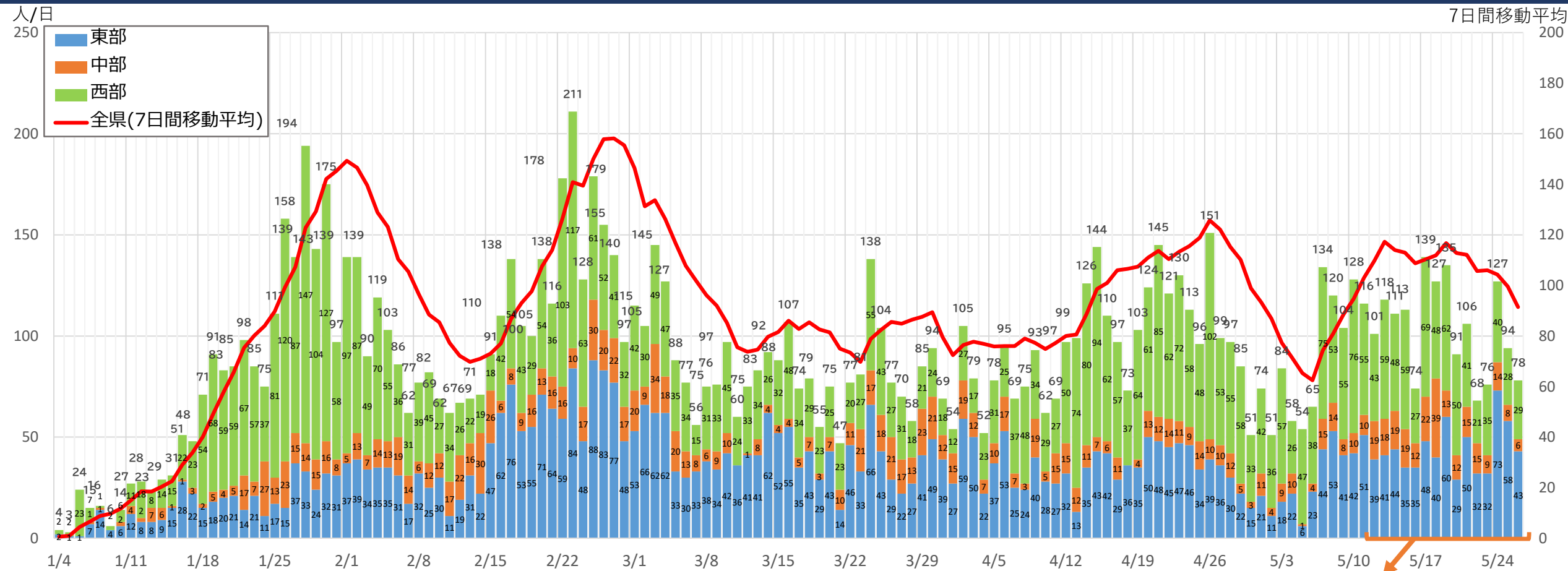
○就学・就労支援

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び寄附金を充当

※ウクライナ在住者(研究者)の公立鳥取環境大学受入に向け、具体的な調整・準備中

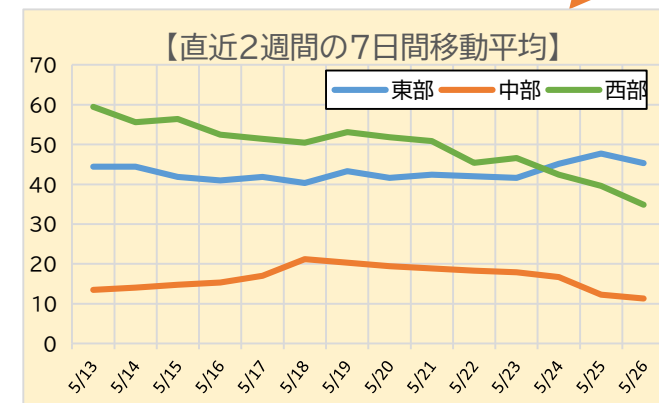
新規陽性者数の推移

【公表日ベース】



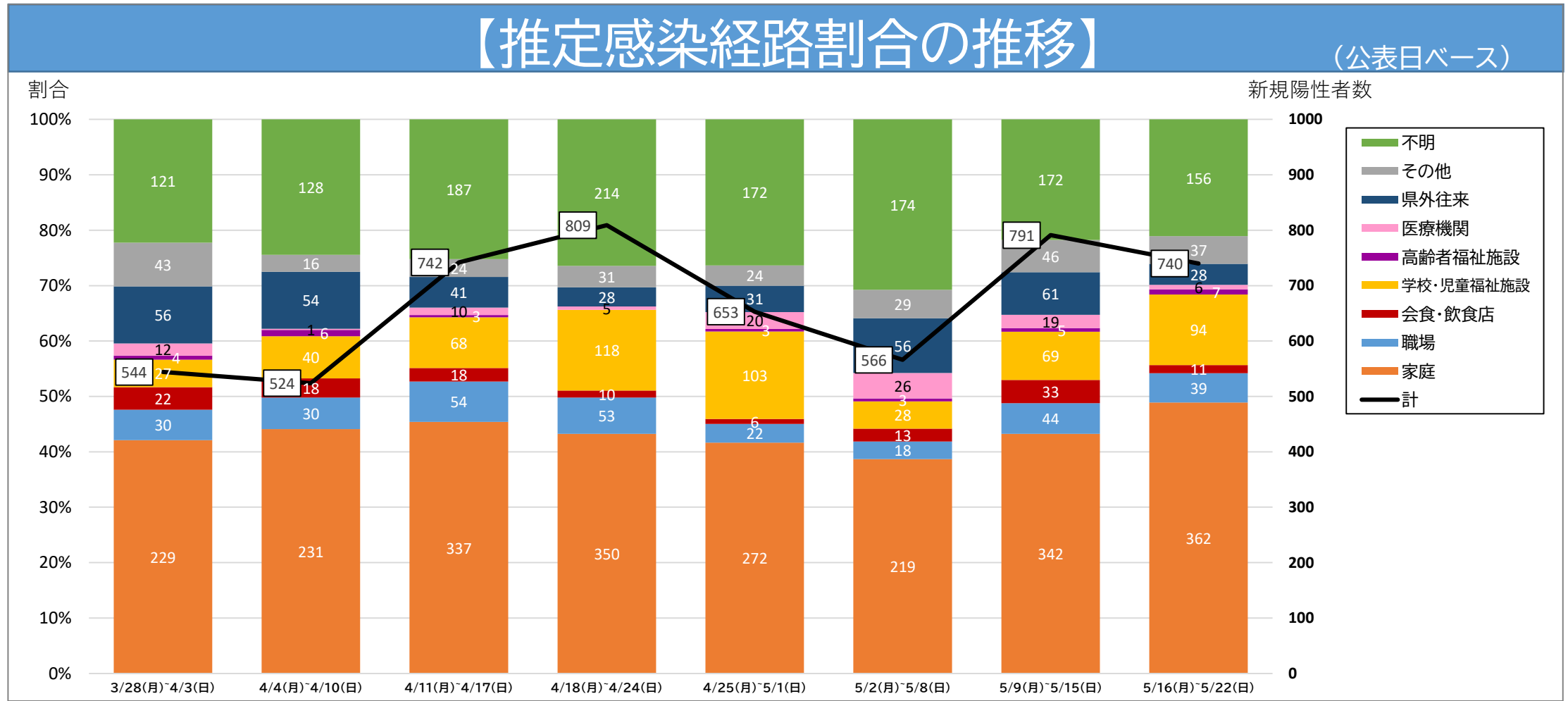
1/4～5/26の保健所ごとの累計発表陽性者数

管轄保健所	鳥取	倉吉	米子	全県計
累計陽性者数	5,118	1,643	6,371	13,132



最近の感染事例

- **学校・保育所等での児童間感染から家庭内へ感染伝播**
 ➡ 家庭内での兄弟間感染により他学年や他学校・保育所等へさらに感染拡大
- **高齢者福祉施設や医療機関で集団感染**



特措法第24条第9項による「感染対策推進月間」への協力要請

依然として新規陽性者数が高いレベルで推移しているため、引き続き感染対策の徹底を要請します。

■ **区 域** 鳥取県全域

■ **期 間** 令和4年5月26日から6月30日まで

■ **要請内容**

- “飛沫”を意識して**メリハリのあるマスク着用**をお願いします。
- こまめに手洗い、消毒、換気などの**基本的な感染防止対策の徹底**をお願いします。
- 検温など体調把握に努め、**御自身の体調の悪い場合だけでなく、御家族に体調不良者がいる場合は、登校・出勤等は控えていただくよう**お願いします。
- 安心して活動していただくために、**積極的な無料検査の受検**をお願いします。
- **県外往来された際は、帰県後1週間は、大人数での会合への出席自粛**や混雑した場所、換気の悪い場所など**感染リスクの高い場所を避ける**ようお願いします。

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項は、新型コロナウイルスの感染拡大を抑え込むために、県民の皆様にご協力をお願いする制度です。

「感染対策推進月間」 マスクの正しいつけ方 ～日常生活～

- ・ 政府が示したマスク着用の見解は、本県が従前より呼びかけている“メリハリのあるマスク着用”の内容と基本的には変わりません
- ・ 飛沫を意識して場面毎でマスクを着けたり・外したりする“メリハリのあるマスク習慣”をお願いします。

場面毎のポイント

【屋外】

マスクを外していただいて大丈夫です

【留意点】

- ・ 会話の際は、距離を取ってください。
- ・ 距離を取ることが難しい場合は、マスク着用を



熱中症予防のポイント

- ✓ 屋外での農作業や運動等の際は、周囲との距離を確保の上、マスクを外す！
- ※こまめな水分補給も重要です



【屋内】

基本的にマスク着用をお願いします

【留意点】

- ・ 人との距離が確保でき、かつ会話をほとんど行わない場面では、例外的にマスクを外して大丈夫です（例：図書館で一人で読書など）



運動時のポイント

- ✓ 距離をとれば運動時は必要ないが、休憩時や更衣室ではマスク着用を忘れずに！



鳥取砂丘の真ん中では、マスクを外しても大丈夫です！



「感染対策推進月間」 マスクの正しいつけ方 ～学校～

- ・ 5 / 2 3 に国の基本的対処方針が改正され、マスク着用の考え方が示されたところ。
- ・ 学校においては、引き続き、従来どおりのマスク着用の柔軟な対応を行うなど、**感染防止対策を徹底**しましょう。



原則、マスク着用

- 身体的距離が十分とれない場合
- 換気が不十分な場合 等



以下のような場合は、マスク着用は不要

- 屋外で十分な身体的距離が確保できる場合
- 熱中症等の健康被害が発生する恐れがある場合 等



外遊び
2 mの身体的距離が保てる



体育・部活動
更衣室や待機中はマスク着用



夏場で熱中症の危険
登下校中で会話時はマスク着用



自然観察
会話なし

「感染対策推進月間」 マスクの正しいつけ方 ～保育施設等～

- マスクは一律には着用を求めませんが、飛沫感染対策としてマスク着用は有効です。
- 子どもの発達状況に応じて可能な範囲で着用しましょう。

年齢区分	マスクの正しいつけ方
2歳未満児	着けない
2歳児 ・ 3歳以上児	<p>発達状況等に応じて可能な範囲でマスクを着用</p> <p>〔着用するとき〕</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子どもが集まり距離が十分にとれない場合・ 屋内で換気が十分にできない場合・ 合唱、歌遊び、発表会等行事・練習など飛沫感染のおそれのある活動 など <p>〔着用時の注意〕</p> <ul style="list-style-type: none">・ 息苦しくないか等の体調変化に十分注意する・ 熱中症のおそれがある場合や体調が悪い場合は、マスクを外す <p>※マスクを着けない時は、特に、換気や手洗い・消毒などの基本的な感染対策を徹底しましょう</p>



◆状況に応じてマスクを着脱できるように、マスクを準備しておきましょう
(工夫例) 袋に入れてロッカーや机に常備

「感染対策推進月間」ワクチン接種の加速化

市町村、県の垣根を超え、アウトリーチによりワクチン3回目接種加速化を強力に推進する

- ・未接種者への接種勧奨、オンデマンド型出張接種の実施等、県が市町村に協力
- ・企業・大学、公共施設等に出向いてのオンデマンド型接種会場の開設・運営
- ・夏休み中のショッピングセンターでの臨時接種会場の開設・運営
- ・SNS等の各種メディア広告、県教委と連携した学校を通じた情報発信

＜県営接種会場＞

[東部] 新日本海新聞本社 5/28 6/25

[中部] 倉吉シティホテル 6/17,18

[西部] 米子しんまち天満屋 6/4

・4回目接種開始 (6/4～)

・1～3回目接種の方も (5/28～)

ノバボックスも開始

◎ イオンモール日吉津に接種会場

夏休みは、親子で立ち寄りやすいショッピングモールに接種会場を開設します (7～8月)



◎ オンデマンド型接種会場

職域共同プロジェクト
を発展・進化

接種を希望される企業、大学、公共施設等にワクチンバスが出かけていき、その場でワクチン接種を行います (6～8月)
※概ね10名から受付



◎ お仕事帰りにワクチン接種!

金曜の夜、接種会場を開設します
平日や土日の日中はお忙しい方も、お仕事帰り・お休み前に、最短20分で接種できます(6/17,中部)



希望日時・場所を調整してワクチンバスを派遣します

「感染対策推進月間」医療提供体制及び療養環境の確保

➤ 院内感染防止対策の強化

- ・相次いだ院内感染事例を踏まえ、**院内感染対策ガイドライン**を改定し、各医療機関に徹底を要請
＜見直しのポイント＞
 - ・関係する2名以上の者が感染した場合等における一両日中の一斉検査
 - ・患者における発熱、体調不良時の症状が出た場合の速やかな検査、可能な限りの入院時検査の実施
 - ・陽性者判明時のアイシールドの常時着用等の検討、感染者多数発生した場合のN95マスクの常時着用等の検討など、
標準予防策のレベルアップ など
- ・コロナ患者用病床以外の病床における感染拡大防止の設備整備を支援【5月補正】
 - ➔ **入院患者が感染した場合も、同じ病院で感染防止しながら、入院の原因となった疾患の治療を続けられる環境を整備**（軽症が多いオミクロン株の特徴を踏まえた対応）

➤ 速やかな治療薬処方体制整備の推進

- ・重症化リスクのある軽症患者について、**モルヌピラビル**を診療所等で処方し、服用中のフォローアップも（医師会と連携）
【ラゲブリオ取扱い登録状況[5/23現在]】医療機関:105機関 薬局:107機関 ➔ 4月末から38機関増

➤ 宿泊療養施設の追加確保

- ・新たに協力いただける宿泊施設の確保へ調整

「感染対策推進月間」 保健所の応援体制

今後感染拡大しても保健所機能が維持できるよう体制を拡充強化

- ◆保健所業務の一部を更に外部委託へ
- ◆各保健所 計170名の体制で業務応援を実施中
- ◆最大300名の人員体制を確保済（感染状況に応じて日々、柔軟に応援人数を調整）

○各保健所業務の更なる外部委託化

- ・自宅から療養先等への患者移送業務（5月27日から）
- ・在宅療養者への「パルスオキシメーター貸与・回収」「食料配布」（6月1日から）

○現地応援業務

- ・入院調整業務
- ・在宅療養者への物資輸送、学校等のPCR検査採取支援
- ・「クラスター対策チーム」及び「学校感染拡大防止」「子ども関係施設等感染防止」「社会福祉施設感染防止」の特命チーム派遣 等

⇒ 鳥取市保健所については、クラスター対策チームの派遣や学校等のPCR検査の検体採取支援を実施中

○県庁におけるリモートによる応援業務（60名体制）

- ・疫学調査の電話聞取
- ・在宅療養者に対する電話説明
- ・療養証明発行業務
- ・HER-SYS（感染者等情報把握・管理システム）による在宅療養者等の健康観察

本県のレベル移行判断目安【暫定運用】の見直し

オミクロン株感染の特性を踏まえ、以下のとおり見直しを行う

①「新規陽性者数(対人口10万人/週)」の目安を緩和

・第5波の最大値(8/5:36人/週)と第6波の最大値(2/27:200人/週)を踏まえ、**現行目安の5倍に設定**

②「全療養施設使用状況」を目安から削除

・在宅療養が中心となっていることを踏まえ、施設のひっ迫動向指標は「最大確保病床使用率」に一本化

※レベルⅡ:新規陽性者数が増加傾向。一般医療と新型コロナ医療の負荷が生じはじめているが、病床数増加でコロナ医療が必要な人へ適切な医療ができています

レベルⅢ:一般医療を相当程度制限しないと、コロナ医療が必要な人への適切な医療ができない

【見直し前】

判断指標	本県独自目安 (状況を踏まえ総合的に判断)		
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
新規陽性者数(対人口10万人/週)	10人/週	30人/週	50人/週
最大確保病床使用率	15%	50%	80%
重症病床使用率 (重症者以外が使用している場合も計上)	—	50%	
全療養施設使用状況 (療養者数/(最大確保病床数+宿泊療養居室)) ※療養者数には在宅療養者の人数も含む	—	—	1



【見直し後】

判断指標	本県独自目安 (状況を踏まえ総合的に判断)		
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
新規陽性者数(対人口10万人/週)	50人/週	150人/週	250人/週
最大確保病床使用率	15%	50%	80%
重症病床使用率 (重症者以外が使用している場合も計上)	—	50%	
全療養施設使用状況 (療養者数/(最大確保病床数+宿泊療養居室)) ※療養者数には在宅療養者の人数も含む	—	—	—

新規陽性者数を踏まえた県民への「警戒」「注意」の情報

圏域ごとに以下の①②③のいずれかが設定値に達した日に提供

区 分	感染拡大「注意」情報	感染拡大「警戒」情報
① 新規陽性者数 【7日間の累計】	10万人あたり 100 人/週 〔実数：東部・西部各225人/週 中部 100人/週〕	10万人あたり 200 人/週 〔実数：東部・西部各500人/週 中部200人/週〕
② 感染経路不明数 【7日間移動平均】	東部・西部各 10 人/日 中部 5 人/日	東部・西部各 30 人/日 中部 15 人/日
③ 新規陽性者数の前週比 【3日間累計】	増加	1.5倍

- 「感染拡大注意情報」は、レベルⅢの移行判断目安より前に、「感染拡大警戒情報」は、レベルⅣの移行判断目安より前に提供するよう基準値を設定

「感染対策推進月間」観光・飲食支援拡大

(1) 「#WeLove山陰キャンペーン」「スペシャル・ウェルカニキャンペーン」

■ **6月30日まで期間延長！**

■ 「スペシャル・ウェルカニキャンペーン」(兵庫県民・広島県民)割引を
6月1日から開始！⇒中四国+兵庫県の全域へ

➤ 鳥取県民が兵庫県・広島県内で宿泊・旅行した場合も割引等が受けられます。
(岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県に対象拡大し実施中)

※旅行会社と連携した中四国エリアでの店舗キャンペーンを実施中 → **広島県・兵庫県の店舗でも実施予定**

(2) 夏のSNSプレゼントキャンペーン



鳥取のお土産セット
をプレゼント！



■ **(1) のキャンペーン対象者**

① とっとり旅Instagramアカウント (@insta_tottori) をフォロー

② 県内観光地写真に「#夏の鳥取プレゼントキャンペーン」を付けて投稿

(3) 食べて！泊まって！とっとり満喫プレゼントキャンペーン

県内飲食店、宿泊施設を利用すると抽選で特産品が当たる (7/1～)

県内観光遊覧船運航事業者に対する風評被害払拭の対応

○北海道知床半島沖で発生した観光遊覧船沈没事故の影響により、県内で観光遊覧船を運航する事業者では、事故以降、風評被害に伴うキャンセルが相次いだ。

○この状況を受け、本県においては風評被害払拭のため、次の取組を実施

- 県内全市町村(観光担当課長)に対し、同社の安全運航の取組を公文書で通知(5月上旬)
- 県公式観光・旅行情報サイト「とっとり旅」に安全運航の取組を掲載(5月上旬)
- 鳥取県観光連盟主催の観光情報説明会・商談会に運航事業者の社長が参加され、県外旅行会社等に対して安全運航の取組を紹介(5月上旬)

○今後も風評被害払拭に加え観光需要回復を促すため、次の取組など実施予定

- 県内旅行会社を対象とした安全運航の取組説明会・体験乗船の開催(6月頃)
- 県外旅行会社の商品造成担当者を招聘し、安全運航の取組み説明や体験乗船(夏頃)
- 県外イベントや観光情報説明会などでの情報発信(安全運航の取組など)(6月～)
- 遊覧船をはじめ美しい景観等の映像を紹介することにより、浦富海岸をはじめとする山陰海岸ジオパークの魅力を情報発信(観光連盟のHPやSNS等)(6月～)



水害に備えた河川整備

■ 支川はん濫等への対応強化

・清水川排水機場の排水能力を増強

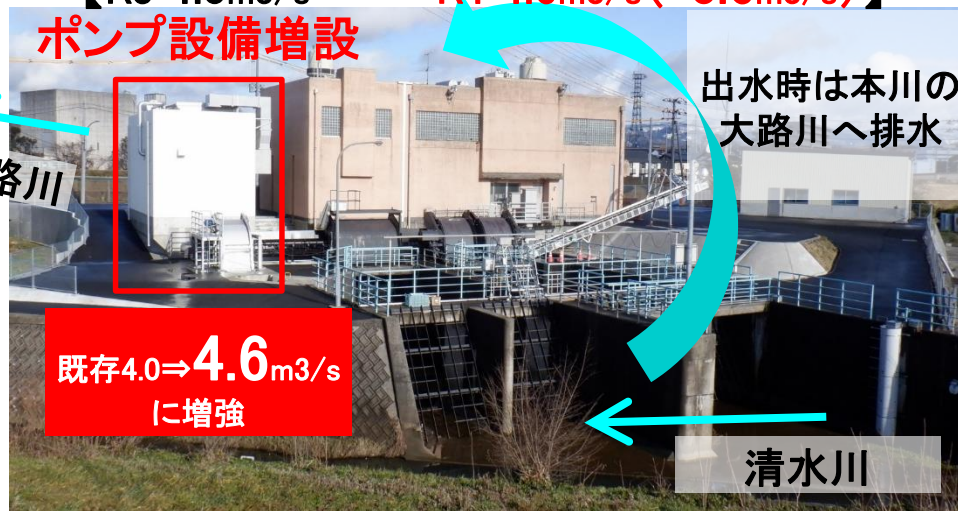
【R3 4.0m³/s ⇒ R4 4.6m³/s(+0.6m³/s)】

ポンプ設備増設

出水時は本川の
大路川へ排水

清水川

既存4.0⇒4.6m³/s
に増強



■ 河川の流下能力の向上

・樹木伐採・河道掘削の実施

⇒要対策箇所668箇所中、572箇所が完了(昨年比+114箇所)

【R3: 458箇所,進捗68.6%

⇒ R4: 572箇所(+114箇所),進捗85.6%(+17%)】



砂田川(鳥取市杉崎付近)

■ 河川施設の操作の効率化・安全性の向上

・河川版DX(樋門等の電動化)の推進

⇒県管理樋門160基について令和4年度から電動化に新規着手

(R4~40基/年)



手動(ハンドル)式の樋門



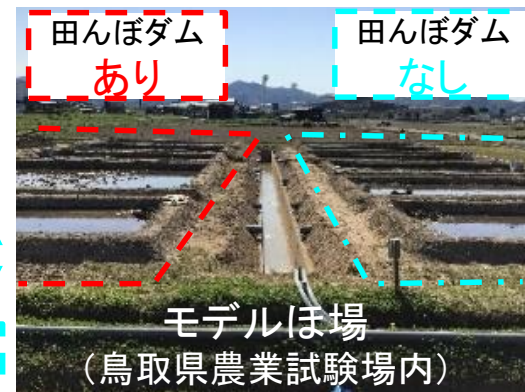
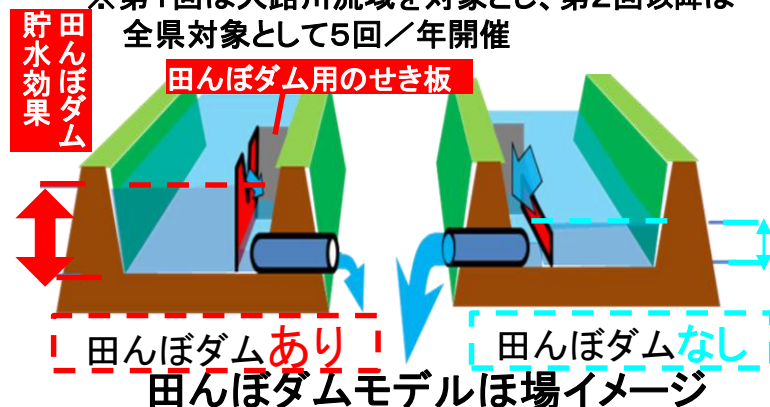
電気ドリル式の開閉

■ みんなで取り組む流域治水の推進

・田んぼダムによる貯水効果検証に着手

⇒モデルほ場での実証研修を開催(第1回:6月17日)

※第1回は大路川流域を対象とし、第2回以降は
全県対象として5回/年開催



水害へ備えて警戒・避難等のお願い

出水期を迎えるにあたり、県民の皆様の適切な判断、行動をお願いします。

【線状降水帯に係る気象情報】(気象庁)

気象庁では6月1日から、線状降水帯による大雨の可能性を予測し、半日程度前から「気象情報」の中で呼びかけ

※この情報は大まかな地域を対象に発表されますが、発表されたときは、**雨量が予想より多くなる可能性があることに注意してください。**



■ 県民への早期の注意喚起

線状降水帯に係る気象情報など、注意が必要な気象情報について、**鳥取県防災アプリ、あんしんトリピーメール、とりネット、SMS等**を通じて早期の注意喚起を実施

■ 避難指示等の発出に係る市町村支援等

- 市町村へ避難指示発令に係る技術的助言などの支援を実施(气象台と連携して行います。)
- 迅速な避難指示等の発令の徹底を市町村へ依頼
→**避難指示が出た場合は必ず避難しましょう**



大山入山協力金 本格導入

大山夏山開きが6/5(日)に行われます。同日より「大山入山協力金」を開始しますので、登山時のご協力をお願いします。

▼▼▼ いずれかの方法でご協力ください。 ▼▼▼

登山1回につき

500円

記念カード贈呈



何度登っても

年間 **3,000円**

梨の木キーホルダープレゼント



以下の募金箱か窓口でお支払いください。

①大山山頂避難小屋内 ②大山ナショナルパークセンター 1階

※電子決済方式も導入します。

協力金は以下の事業に使われます。

登山道の補修



(キャラボク群落を守る木道の補修)

植生等の自然環境保護



(植生復元のためのこも伏せ)

トイレの維持管理



(山頂避難小屋水洗トイレ清掃等)

みなとさかい交流館2階展示ホールをリニューアル

鉄道(JR境線)と船(隠岐汽船)の玄関口に位置する2階展示ホールの更なる利活用を図るため、水木しげるロードのスタート地点としてリニューアルします！

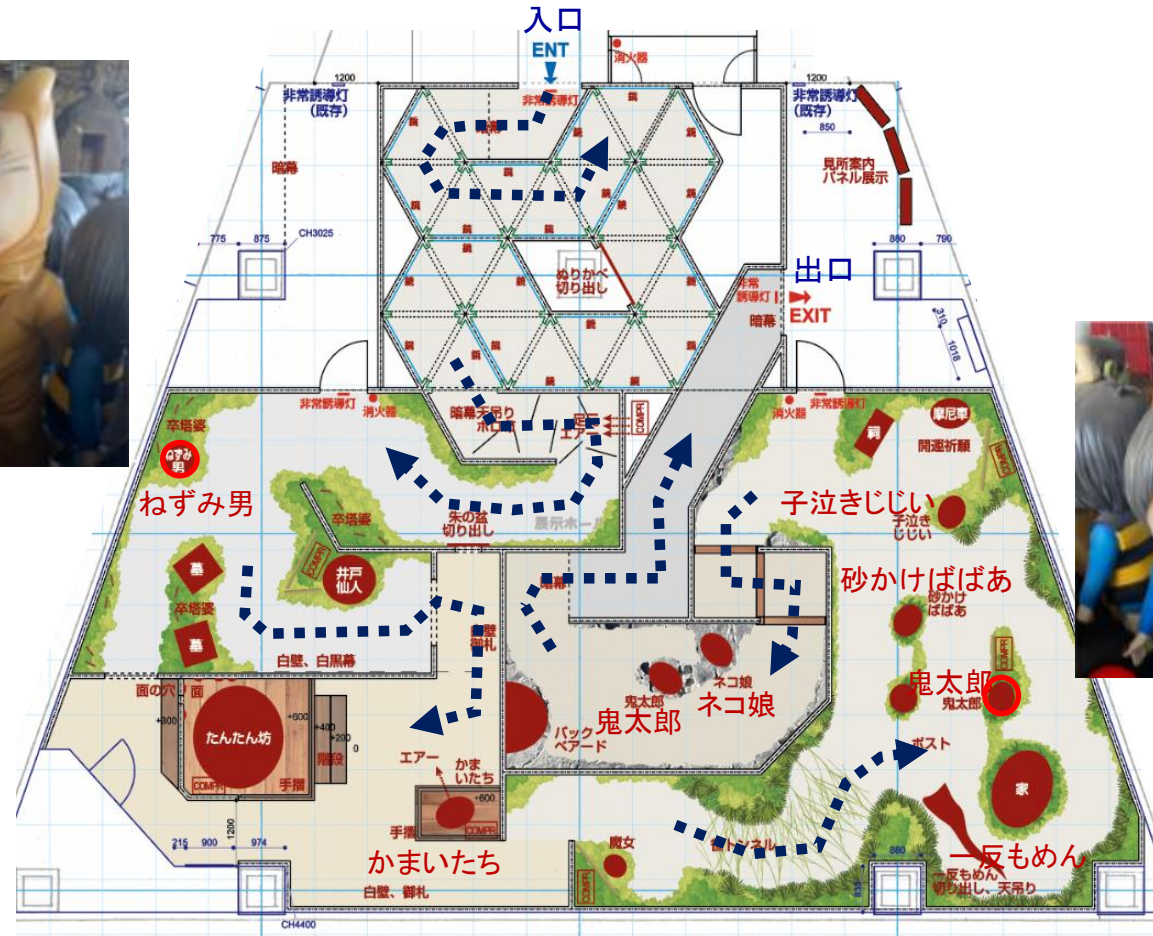
※みなとさかい交流館利活用検討会での議論に基づき、民間事業者を公募し決定

民間事業者による新たな
施設が今夏オープン

①動きのある妖怪フィギュアを
楽しみながら迷宮めぐり

②自分が集めたいスタンプを
押して「開運ノ札」づくり

※現在の「まんが王国とっとりPR展示」
は、米子鬼太郎空港など3カ所に移設



特定希少野生動植物の見直しについて

- 「鳥取県版レッドリスト」改訂に伴い、「鳥取県希少野生動植物の保護に関する条例」に基づく「特定希少野生動植物（特に保護を図る必要のある種）」を見直し（5月定例会に付議）。

見直し案

指定種数：39種（動物7種、植物32種） ← 41種（動物8種、植物33種）

【新規指定（植物11種）】

- 新規発見：ヤシャゼンマイ、マイヅルテンナンショウ、サルメンエビネ、ナギヒロハテンナンショウ、ツリシュスラン
- 個体数減少：タケシマラン、ベニバナヤマシャクヤク
- 生息地減少：ミズアオイ、ダイセンアシボソスゲ、ミチノクフクジュソウ、イソスミレ



サルメンエビネ



ベニバナヤマシャクヤク



ミズアオイ



ミチノクフクジュソウ



イソスミレ

【指定解除（動物1種、植物12種）】

- 個体数増加：コガタノゲンゴロウ、イワギク等
- 生息地増加：オキナグサ、エゾカワラナデシコ等

「青谷弥生人」そっくりさんが「とっとり弥生の王国」に大集合！

ナンバーワン決定戦いよいよ開幕！

青谷弥生人そっくりさん



春日連太郎さん (大阪府)

清水大地さん (鹿児島県)

石笠貴士さん (東京都)

中川剛さん (兵庫県)

牛山裕樹さん (東京都)

山本尚哉さん (静岡県)

青柳純二さん (東京都)

師岡宏典さん (東京都)

服部学さん (奈良県)

吉田昌弘さん (大阪府)

2022年

5月28日^土

●開催時間 14:30～16:00 (開場:14:00)

会場 鳥取市青谷町農林漁業者トレーニングセンター

YouTubeでも同時配信！